

気づこう つなげよう 意識しよう リユース・リデュース・リサイクル ～節電・節水・自然を大切に～

実践事例について

1年生は「自然の素晴らしさ」、2年生は「多種多様な生き物の存在」、3年生は「家庭・学校での環境保全活動」、4年生は「地域の環境保全活動」、5年生は「滋賀県の環境問題」、6年生は「地球の環境問題」、特別支援学級は「身近な環境保全活動」をテーマに、全学年で系統的に環境教育に取り組んでいる。また、委員会活動では、紙のリサイクルの推進や節水のよびかけ、イチモンジタナゴ繁殖実験、栽培活動、ピオトープの活用などに取り組んでいる。

学校紹介

本校は、大津駅の南側に位置する全校児童 419名、クラス数 17の小学校である。1997年に



ピオトープ、2008年には新校舎、2012年には新体育館が完成するなど、設備にも恵まれている。また、本校は、平成16年度から継続的にエコ・スクール事業に参加し、認定を受けている。さらに、過去には、「しが環境教育リーディング事業」にも参加し、『生涯にわたって環境保全活動に取り組む子どもの育成』を目指して、協同的な学びや、ESD（持続可能な開発のための教育）の概念を取り入れた研究を、生活科や総合的な学習の時間に進めてきた。さらに本年度は活動の発信としてエコ・スクール発表会（県主催）にも参加した。また公益財団法人三菱 UFJ 財団の支援を受けてピオトープの整備にも取り組んだ。

キックオフ宣言

6月に校内テレビ放送でキックオフ宣言を行った。今年度のテーマは、実際に行動にうつせる内容を意識して『気づこう つなげよう 意識しよう リユース・リデュース・リサイクル』とした。話し合いの中で出された「昨年度までの学習やさまざまな取組をつなげながら身近な環境を考えよう。」という気持ちを込めて、この活動テーマに決定した。そして、エコキララ委員会、自然キララ委員会の各委員長が、エコ・スクールとしての活動を始める決意を、全校児童に述べた。

エコスクール支援委員会

琵琶湖博物館の学芸員、逢坂の川を愛する会の会長、PTA 会長、逢坂支所長、大津市環境政策課の担当者などから、本校の活動についての助言をいただいた。

各委員会の取組

◎エコキララ委員会（リサイクル委員会）

教室の古紙を集める「リサイクルボックス」を定期的に点検・回収し、気持ちよくリサイクルに取り組める環境づくりに努めた。リサイクルボックスの活用を促すポスターを作成し、全校に広めた。さらに、「節水見守り隊」を結成し、給食の時間に、水を大切にしようというよびかける運動をしてきた。また、「なぜ、水を大切に使うのか」を伝えるためにフェスタで全校に伝えた。

◎自然キララ委員会（飼育・栽培委員会）

大津市の市民団体「ぼてじゃこトラスト」の協力の下、平成22年度から毎年行っているイチモンジタナゴの繁殖実験に、今年も取り組んだ。イチモンジタナゴの生態について教わり、毎日様子を観察した。産まれた稚魚が大きく育つ様子を観て、命の大切さも感じる事ができた。本校には、校舎の施設として雨水タンクがある。今年度は、保健室前や教室前の花壇にマリーゴールドやひまわりを植え、この雨水タンクにたまった雨水を使って水やりをしている。植物への水やりには水道水を使わず、雨水タンクの水を使うことで、雨水の有効利用というエコ活動への意識が高まった。



各学年の取組

◎1年生

生活科「くさきも わたしも ころもがえ」

どんぐりやまつぼっくり、落ち葉など、秋にみられる自然の物を利用しておもちゃやゲームを作り、「あきランド」としてお店を開いて、幼稚園児を招待する活動を行った。



◎2年生

生活科「いきいき キラキラ 生きている」



丸山公園やビオトープ、校庭などを探検し、生き物とふれあう活動を行った。そして見つけた生き物について、す

みかや餌などを詳しく調べて、実際に飼育することで、生き物や生き物がくらす環境を大切にしようとする気持ちが育った。また、学級園でサツマイモの栽培も行った。

◎3年生

総合的な学習の時間「身の回りのエコを探ろう～わたしたちはエコ・スクールキッズ～」

まず、学校のエコ（環境保全活動）や家庭のエコを探る活動を行った。その後、古紙を回収している業者からリサイクルの話聞いて学びを深めた。そして、見つけたエコから調べたい課題を決め、詳しく調べてポスターセッション形式で発表し、実践することを宣言した。



◎4年生

総合的な学習の時間「吾妻川のひみつをさぐろう～逢坂エコレンジャー～」

まず、校区を流れている吾妻川に実際に出かけ水生昆虫の生息状況や水質、落ちていてごみなどの調査を行った。次に、地域の方の講話を

通して、過去の吾妻川の様子について学習した。そして、1学期の調査とともに、1人ひとり興味を持ったことについて調べ、まとめた。さらに、未来の吾妻川のあるべき姿を想像し、自分たちにできることを考えた。その1つとして、ポイ捨て防止を訴える看板作りに取り組んだ。



◎5年生

総合的な学習の時間「びわ湖環境学習」

琵琶湖でのカヌー体験や外来魚釣り、プランクトン観察など、



実際に琵琶湖に触れる活動を行った。そして、追究したい課題について調べ、わかったことをまとめた。その後、フローティングスクールで学んだことや感じたことも取り入れて、琵琶湖を守るためにできることを発信した。

◎6年生

総合的な学習の時間「未来のためにわたしたちができること」

まず、画像を通して、地球温暖化の現状について学んだ。次に、大気汚染や生物の絶滅の危機など、各自が興味を持ったテーマについて、さまざまな方法で調べたり、インタビューを行ったりした。学習を進めていくうちに、それぞれの問題が「地球温暖化」でつながっていることや、簡単には解決できない問題であるということに気付くことができた。その後、それぞれが考えた環境保全の取り組みを継続している。

◎わかば学級

総合的な学習の時間・自立活動「すてる前にちょっとまで…」

牛乳パックや空き箱、ダンボールなどの廃材を使って、リサイクル工作に取り組んだ。廃材をどのようにすれば効果的に利用できるかを考え、羽子板や魚釣りなどのおもちゃをつくった。また、3月には、廃材を使って小物を作り、お世話になった先生方にプレゼントする予定である。



逢坂小マスコットキャラクター
モリアオ丸くん

学校名	大津市立逢坂小学校
住所	大津市音羽台6番1号
電話番号	077-522-6753
E-mail	osaka@otsu.ed.jp
URL	http://www.otsu.ed.jp/osaka